

第5回哲学プラクティス連絡会 プログラム

8/24 (土)	311教室	312教室	321教室	322教室
10:30-12:00 ワーク ショップ	哲学探偵事務所	菊地建至	山本和則	Small Talk Project (藤本ナオ子) × 角尾宣信 (映画研究者)
	対話の方法論 ～対話法を使って対話する～	多文化主義 —私生活と対話とリサーチから書くこ とへ、そうして書いたものから対話と リサーチへ 1	哲学を因数分解する	Small Talk Project Vol. 1.5 《観る・聞く・伝える》 ＝映画×アートで考える哲学対話 ＝ ＜敗戦後の象徴天皇制のもとで ”生きる・働らく”とは何か？＞
12:00-12:45	お昼休み			
12:45-13:30	ブース (324教室)			
13:30-15:00 ワーク ショップ	人生カフェ	菊地建至	関本智美、堀越耀介、 梶谷真司、工藤明、玉置姫菜	草間さゆり (ひろしま哲学カフェ)
	中高年の哲学対話の可能性 (定員12名)	反差別の教育 —私生活と対話とリサーチから書くこ とへ、そうして書いたものから対話と リサーチへ 2	よーごきょーゆといっしょ ～大山高校哲学対話～	対話を文字化する？しない？ —メモ、板書、記録、レポートから書 籍化まで、その可能性と限界—
15:10-15:40	総会 (326教室)			
15:40-17:40	トークセッション (運営企画) 「哲学プラクティスの実践と研究」 (326教室)			

第5回哲学プラクティス連絡会 プログラム

8/25 (日)	311教室	312教室	321教室	322教室
10:30-12:00 ワーク ショップ	木村史人・戸谷洋志	哲学ツーリズムを考える会		図書館貫井北分室
	ミニ哲学カフェ「放射性廃棄物」	哲学ツーリズムを考える3	※哲学相談に「する/される」はあるのか？ は企画者の都合により <u>中止となりました</u>	空の椅子との対話 (定員20名)
12:10-13:00 プレゼン テーション	戸谷洋志	稲原美苗、山川哲、井手雪 (神戸大学大学院)	奥村 尚	馬場智一
	科学技術のELSIにおける 哲学対話の意義	大学院生が企画・運営する 哲学カフェの社会教育学的実践 ——地域コミュニティでの 対話の場づくりにおける学び——	学校における「哲学対話」の 多文化教育としての意義	400人の対話をいかに ファシリテートするか
13:00-13:45	お昼休み			
13:45-14:30	ブース (324教室)			
14:30-15:20 プレゼン テーション	しばたはる	南学 正仁	神戸和佳子	堀越耀介
	対話実践に期待される「政治的役割」 とは何か？～対話性指標に基づく議会 審議評価の可能性 DQI(Discourse Quality Index)研究を参照しながら～	医学部における 哲学プラクティスの一例	「哲学することの教育」において「先 哲の思想」をどう教えるか	哲学コンサルティングの理論と実践
15:30-17:00 ワーク ショップ	哲学探偵事務所	Ris哲 有志	永井玲衣	永井美佳
	対話の方法論 ～パターン・ランゲージを作る～	「てつがくを 575ではじめよう」 兼題： ぬいぐるみは生きているのか？	哲学カフェについて考えるとき わたしたちが考えること	絵本を用いた哲学対話による「他者の 特性理解」とその可能性を探る (定員15名)
17:00-17:20	片付け			
17:25-17:40	クロージング (326教室)			